



# 静岡県西遠女子学園 インターアクト部

## 「目指すはレジリエントコミュニティ」



高校生ボランティア・アワード2025

地震をはじめとする自然災害はいつ起こるかわかりません。災害時、食料事情は深刻な問題となり、栄養バランスの偏りや単調な食事によるストレスは、被災者の心身に大きな負担を与えます。一方で、日本では年間多くの規格外野菜が廃棄されており、フードロスは深刻な社会問題となっています。私たちは、この二つの課題を同時に解決する可能性を秘めた「フードロス削減パウダー」（規格外野菜の粉末）に着目し、地域の方たちと関わり合いながら積極的に活動しています。そして災害に負けないレジリエントコミュニティを作りたいと思っています。

### 災害時の食事における課題

- ・ 栄養バランスの偏り
- ・ 味の単調さ
- ・ 安全な食品かどうか

### フードロス削減パウダーの利点

- ・ 栄養価の向上
- ・ 味の変化と食事の多様性
- ・ 長期保存と品質保持が可能

### フードロス削減と防災への貢献

- ・ 環境負荷の低減
- ・ 災害時の食生活の質の向上
- ・ 防災意識の向上

フードロス削減パウダーの可能性（第4回プレゼン甲子園で発表）

### 災害時に役立つアイデア

- ・ 味変レシピ
- ・ 簡単調理
- ・ 身近な食材の活用

防災料理教室 開催

## 「地元企業さんとのつながり」

### LOCAL ACTION HAMAMATSUとのつながり

- ・ **有機野菜農家支援のための勉強会**  
有機農家支援と持続可能な地域づくりという共通目的で連携して課題理解と実践機会を得た。
- ・ **「森の朝市」でのボランティア**  
環境問題に関心をもちLOCAL ACTION HAMAMATSUと協力し「森の朝市」というファーマーズマーケットの運営をおこない、生産者と消費者の両方が協力して環境に配慮した生活をしていくことを目指した。
- ・ **「森の朝市」での私たちが作ったフードロス削減商品の出店販売**  
私たちが企画製造したフードロス削減商品のパウダーを使用したスコーンを出店販売。食品ロスの現状や工夫を伝える機会となった。その後、このパウダーの可能性を追求し、普及を目指して、おいしく、栄養を高める防災備蓄食料への活用を検討し始めた。



### (株)ゴールドクラブとのつながり

- ・ **農業と廃棄物削減・環境保護について見学取材（その後不定期に訪問）**  
LAHの「森の朝市」やイベントのお手伝いをしているうちに自分たちで何か具体的に活動ができるかどうかと考えるようになった。そこで地元企業で環境問題解決につながるような事業を行っていると感じた(株)ゴールドクラブ様に見学・取材を申し込んだ。
- ・ **規格外野菜や果物の粉末化「フードロス削減パウダー」技術**  
(株)ゴールドクラブは、静岡県西部で廃棄物処理業を展開しているMSKグループの中にある会社で廃棄物処理のノウハウをいかし、野菜や果物をパウダーにする技術を研究・開発している。規格外野菜・果物を廃棄することなくパウダー化することでフードロス削減だけでなく様々な可能性がある。
- ・ **フードロス削減パウダーを使った商品開発**  
栄養価はそのまま、保存可能期間は2年以上というこのパウダーを広めようと身近に食べてもらえるスイーツの開発を試み、学園祭で販売し始めた。



### (株)ヤタローとのつながり

- ・ **学園祭販売向けフードロス削減商品スコーン・スノーボールクッキーの開発と製造協力**  
スイーツやパンの製造販売で有名な企業さんで、毎年、学園祭の特別メニューを一緒に考えている。私たちはフードロス削減パウダーを使った商品を提案し、学園祭での人気商品にした。



## 「地域とのつながり」

### 地域協働センター（浜松市東部協働センター）とのつながり

- ・ **チャイルドフェスタでボランティア活動をしつつ食品ロス削減啓発**
- ・ **東部協働センターまつりでのフードロス削減商品の出店販売**  
東部協働センターで、まつりの運営を手伝ったり、スコーンの販売をさせてもらった。販売の際「環境問題に貢献できる」と呼びかけると早く購入してもらえ、少し高めの値段設定でも、皆様が環境問題に貢献するために動いてくれたことや私たちの活動に興味を持ってきて喜びを感じた。

自分の経験を積むだけでなく、地域を盛り上げるきっかけになることができました。地域の方が、環境問題に貢献するために行動を起こしてくれたことや、インターアクト部を知ってくれたことには活動の意味を感じました。



### 食品ロス削減・地球温暖化防止の啓発イベント

- ・ **地元小学生向けのエコクッキング（料理教室）開催**  
地球温暖化防止の啓発と食品ロス削減を多くの人に知ってもらうために、地元の小学生向けのエコクッキング（料理教室）を開催。楽しく社会貢献の輪を広げようと、様々な規格外野菜を使ってお菓子作りをしたり、食べ比べをするなどして、参加者の皆さんにちょっとした意識変革を訴えた。

### その他の様々な地域ボランティア活動（例）

- ・ **きらら浜松の「きららまつり」ボランティア**  
きらら浜松は「ほっとする我が家」を目指す高齢者介護施設で、傾聴ボランティアやイベントのお手伝いを継続的に行っている。きららまつりでは、受付やゲームコーナー、販売のお手伝い、模擬店の売り子を務めた。人とのコミュニケーションを取る大切さを実感している。

### 解決したいSDGsと外部の評価

- ・ 静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞
- ・ 静岡県青少年育成会議「青少年団体等の顕彰」
- ・ 第28回ボランティアスピリットアワードブロック賞



## 「防災に関する取り組み」

### フードロス削減パウダーを防災備蓄食品へ利用する取り組み

### (株)三立製菓とのつながり

- ・ **防災備蓄食料についての取材**
- ・ **フードロス削減パウダーの防災備蓄食品への活用を提案**  
非常食の定番「カンパン」で有名な浜松の菓子メーカーの三立製菓を訪問。防災用食品への応用方法や新しいお菓子の食べ方を提案した。やり取りを通して出来たつながりを今後の防災備蓄商品の提案や新しい商品開発につなげたいと考えている。

### (株)東海消防技研とのつながり

- ・ **防災について、特に災害時の食についての勉強会を開催**  
東海消防技研の方から直接お話を聞き、もし災害が起きた場合の最新の対処方法などについて学習。ローリングストックや在宅避難、災害時の非常食について考え、いま自分たちに何が出来るのかを考えた。レジリエントコミュニティ実現に有効な勉強会となった。

### 避難所運営ゲーム（HUG）について講習に参加

避難所運営ゲーム（HUG）とは避難場所で様々な事が起こるのを模擬体験するゲームです。学校などを避難所に見立て、紙面上で避難場所の配置を決め、カードを引くと現れる様々な条件をもつ避難者や起きるイベントの対処法をグループで話し合っって模擬運営していくゲーム。もし地震がきたらこのときのように正しい判断ができるように準備が大切だと感じた。

### プレゼン甲子園に出場して啓発活動

避難所生活でのWell-being実現を訴え、フードロス削減パウダーの活用を提案。フードロス削減パウダーの防災への利用の可能性を信じ、そのことを広く社会に訴えるには、こうしたコンテストで発表することが絶好の機会と考え、避難生活に重要な「食」を通じたWell-beingの実現を訴えた。その結果、北信越・東海ブロックの3校に選ばれ、優秀賞を頂いた。



### 私たちインターアクト部の今後

次は8月のBOUSAIキャラバンin豊橋でブース開設・出店

今いちばん熱い取り組み

### 防災についてのイベント開催

- ・ **小学生向け「防災料理教室」の開催（災害時に役立つものや災害時の料理などを学ぶ）**
  - ・ 防災に関係するアイラップを使った湯煎調理の紹介
  - ・ 防災時に役立つ料理の紹介・実践
  - ・ 防災食品と規格外野菜のパウダーを活用した料理の提案

地域の小学生を募集し、在宅避難の可能性を想定して身の回りにあるものを災害時にはどう使うことができるか一緒に考えたり、アイラップを使った防災料理を提案し一緒に作ってみた。災害時でも家庭にありそうな食材とフードロス削減パウダーを使い、小学生に防災と環境保護の意識を高めてもらった。

